

国立研究開発法人日本医療研究開発機構

(Japan Agency for Medical Research and Development: AMED)

「橋渡し研究プログラム（シーズF）」の概要について

1. 国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）について

医療の分野における基礎から実用化までの研究開発が切れ目なく行われ、その成果が円滑に実用化されるよう、大学や研究機関などが行う研究を支援し、研究開発やそのための環境の整備に取り組むことを目的として、平成 27 年 4 月に設立された日本最大の政府系医学系研究助成機関です。

2. 橋渡し研究プログラムについて

AMED が行なっている支援には様々なものがありますが、その中でもっとも重要なものの一つにいわゆる“橋渡し研究”があります。

令和 4 年度から新事業体制として開始した橋渡し研究プログラムは、健康・医療戦略（令和 2 年 3 月閣議決定）等に基づき、文部科学大臣が認定した機関（橋渡し研究支援機関）を活用し、アカデミア等の優れた基礎研究の成果を臨床研究・実用化へ効率的に橋渡しするために研究費等の支援を行い、革新的な医薬品・医療機器等の創出を目指します。

本プログラムでは、研究の開発フェーズに応じた 6 つの支援のスキームを設定し、特許出願等を目指す段階から臨床 POC 取得を目指す段階まで幅広い開発フェーズに対応した研究費等の支援を行っています。

これらの 6 つのスキームは、橋渡し研究支援機関内外の優れた基礎研究成果を発掘し、特許出願に必要な研究と予算を見極めて「シーズ」に育てる早期開発段階（シーズ A、異分野）と、機関の支援によって開発が進み、実用化のための研究を行う後期開発段階（preF、シーズ F、シーズ B、シーズ C）の 2 つのタイプに分けられます。

※POC：Proof of concept：新薬候補物質や新技術の効果、安全性等が、動物実験やヒト臨床研究において認められること

◆橋渡し研究プログラムの概要（AMED ホームページより）



3. シーズFについて

シーズFは、実用化の加速のための産学協働で POC 取得を目指す課題です。

(1) 対象

関連特許出願済みかつ、開発にあたって企業連携が確立しており、最長5年度以内に下記の目標への到達を目指す研究開発課題を対象とします。

- ・非臨床 POC 取得及び治験届提出を目指す医薬品及び医療機器等の研究開発課題、または薬事申請用 臨床データ取得を目指す体外診断用医薬品等の研究開発課題
- ・上記に加え、医療への適応のため早期・戦略的な企業へ導出を目指す研究開発課題

(2) 求められる成果

- ・支援開始後2年度目終了時（ステージゲート）までに非臨床 POC 取得、臨床 POC 取得に向けた準備完了、後半ステージに向けた企業リソースのさらなる充実の準備
- ・ステージゲート通過後3年度以内に臨床 POC 取得、製販企業導出

令和4年度「橋渡し研究プログラム」(シーズF)採択数

区 分	申請数	書類審査 通過数	採択数
シーズF 実用化の加速のための産学協働で POC 取得を目指す課題	24	12	6